

# 平成 30 年度第 2 回多賀町立図書館協議会

<b>会議結果報告</b>	
会議名	平成 30 年第 2 回多賀町立図書館協議会
開催日時	平成 30 年 11 月 21 日 16 時 10 分～18 時 05 分
開催場所	あけぼのパーク多賀 2 階 大会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>            会長 火口 悠治            副会長 野澤 泰行            委員 高浪 郁子            委員 西山 梢            委員 小林 紳悟</p> <p><b>【事務局】</b>            山中教育長・大岡課長・小北館長・建部係長・上田囑託員</p>
欠席者	委員 大橋 太 委員 西澤 晶子 委員 夏原 晃久 委員 宮野 由紀絵
議 題	(1) 会 長あいさつ (2) 教育長あいさつ (3) 協議・報告事項 ①平成 29 年度多賀町立図書館の利用実績について ②図書館利用者アンケートの中間報告について ③多賀町社会教育(文化)施設休館日について ④移動図書館さんさん号利用状況(ステーション別)について (4) そ の 他
主な意見、質問および協議内容 <b>1. 平成 29 年度多賀町立図書館の利用実績について</b> 実績内容の説明を行った。主な意見、質問は下記のとおり	

委員 人口規模8,000人未満で多賀町は断トツ1位、2位はどこで、どの程度の差か。

上田 ⇒ 長野県原村が2位、差は1万弱、程度と記憶している。

委員 29年度は空調工事等から臨時休館になり貸出冊数は減ったと思ったが。

小北 ⇒ 日本図書館協会の「図書館年鑑」30年版は28年度の利用冊数になり、来年夏に発行される図書館年鑑は、2万冊ぐらい減っているので変動する。

## 2. 図書館利用者アンケートの中間報告について

図書館サービスに対する意見の一部報告を行った。

〈質疑、意見はなし〉

## 3. 多賀町社会教育(文化)施設休館日について

現在の検討内容の説明を行った。主な意見、質問は下記のとおり

委員 多賀町の社会教育施設を全体的に休館日統一する最大のメリットはなにか。

大岡 ⇒ 説明させていただいたように、すべての施設の休館日がバラバラで職員の体制が整っていない。当初のスタート時は人員もきちんと確保され、それぞれの館で事業を行っていた。今、厳しい財政状況の中で人員も削減され、それぞれの施設で事業を運営するという形が厳しくなっている。休館日を統一して開館日に職員がそろって職員が出勤する日を増やし、事業を運営する時は休館日として職員全員が運営する形をとりたいと考えている。

委員 それぞれの社会教育施設には特徴があって働き方は違う。特に図書館の場合は20年の間に工夫して役場と町民の方からの要望で今の形をとってきた。心配するのは、第1、第3日曜日は平日の1.5倍の利用がある。休むことによって、それに代わるサービスが目に見えた形で受けられるか、どうか、心配する。公民館、博物館はそれぞれ休むことによって、影響は数字的にかなり違うのではないのか。デメリットの方との絡みで提案されているのか。確かに統一することによって、それぞれ館の休みが一緒になるから、職場で職員が一緒に会う機会が多くなるが、町民には見えてこない。この休みにおいて、同じサービスを提供されないと納得されないのではないのか。今までに、練りに練ってこのような形で提案されているだろうし、データもあるだろう。図書館のデータ資料はもっているが、他の施設の利用のデータはどうか。他の施設と休みを合わせる必要があるのか、わからない。それぞれの役割というか、築き上げてきた歴史がある。町民サービスとの妥協といたらおかしいが創り上げてきた。今回、大きな大改革を行うことによって町民が良かったと思われるかどうか、心配である。図書館のカウンターには、いろいろな利用者が来られるので納得で

きるような回答を示してもらわないと困る。

委員 比較的サービスを受ける側としたら平日は稼働率が悪い。資料3の9月分のカレンダーから平均18日、休みが12日という計算になるが、これが年間休日の割振りになるのか。一般的に8日、9日の休日が通例かと思うが。

大岡 ⇒ 資料3の9月の18日という勤務日数は土日、祝日を引いたカレンダー通り、嘱託職員が6名で16日という固定の勤務日数を設けている。事務仕事も多く、平日業務もご理解いただきたい。

委員 わかりました。

委員 当町は休館日が多いため、もっと開けてほしいとアンケートに出ているので開館日数を増やすよう努力をしている。当町から考えると多賀町の開館日数は多いのでいつ休んでおられるか心配していた。日曜日に2回休むのは図書館で働く者にとって抵抗がある。苦渋の選択かと思うが日曜日に2回というのはこの施設にとっても痛手ではないかと思う。

大岡 ⇒ 図書館は曜日別の貸出冊数からも土曜、日曜が多く、祝日に多いのは博物館で県外、県内からの利用者が多い。公民館は土曜、日曜が多いのが現状である。生涯学習課として取り組むような形で今後改善していきたいと思っている。もちろんあけぼのパークに人が必要であれば、公民館の職員が出向く。新しい公民館がオープンすると利用者も増えるかと思うので文化財、博物館、また図書館司書が可能であれば来てもらう。図書スペースがあるので、図書館の方で関わってもらう事業も考えている。休館日が違う縦割りであったものを横の連携ができるように改善していきたい。

委員 多賀町は人口規模で一番貸出冊数が多い図書館と報告があつてすごいと思う。当町は開館してしばらくはピークで今は右肩下がり、9月議会においても、色々やっているが貸出冊数を減らしていると批判の声が出た。議員から日曜日に2回を減らすと貸出冊数が減ることについての批判はないのか。

大岡 ⇒ 議会の方では1回説明をしている。当然サービスの低下に繋がるので曜日別状況、それに代わるサービス提供はどうするのか、何点か意見をいただいているので、2回目の議会の方で説明をさせていただきたいと思っている。十分な説明をしてご理解をいただいてスタートになるかと思う。

委員 学校でも図書まつりとして子どもたちに本を読んでもらっている。図書館でしか借りられない本など、平日は無理なので、土日しか一緒に行ってもらえない部分がある。日曜日が休みになるのは結構、厳しいと思う。職員の方の働き方はもちろんわかるので難しいところかと感じる。

委員 多賀町の場合、家族づれで利用されるのは土日、平日は子どもだけでは来られ

ない。それが月2回、休みとなると影響はすごくあると思う。休むことによって同じサービスは何ができるか、はっきり判れば良いが、難しいと思う。課長さんの立場からするとバラバラだと大変かと思う。生涯学習課として統一することは都合が良いが、各施設は、それぞれの利用者を持っているので、影響というか、反発がすごいと思う。練りに練って説明もきちんとして事前に議員さん、町民の方にこれに代わるサービスを施設ごとに説明し周知しないと難しいと思う。図書館の場合は町民への還元としてはっきりでるが、休むと減る。公民館の場合どうか練られて、より慎重にされたい。

委員 8千人規模で全国1位は落ちると思う。貸出冊数は減ると予想されるが、その辺は図書館としては、了解されているのか。

館長 ⇒ 利用数の減は現実問題として出てくると思う。

委員 隔週の日曜日が休みになると住民のみなさんへの周知がポイントになる。日曜日に来られ、休館となると日曜日には来ないという方が出てくると思う。貸出冊数が減り、来館者もどんどん減るということで図書館としての存在意義が衰退しないかと危惧する。

委員 私の場合、今日が第1か、第3かわからない。周知徹底がしづらいと思うが。

大岡 ⇒ 導入する際は、きちんと伝えていかないと難しいと思っている。ご意見を色々いただくのは図書館が一番多いと思っている。

委員 図書館は個人と個人の関わりで公民館の場合は団体、博物館は町外で来館しても年に1回か、2回程度、図書館の場合は毎週来る。新聞、雑誌などをいつも見に来る。休みが一律ではないのはそこだと思う。一番影響があるのは図書館だと思う。

大岡 ⇒ 新しく4月からオープンする公民館は個人の方がゆっくりしていただくスペースが非常に多い施設になっている。今の公民館は目的があるサークルとか団体が利用する施設になっている。今度の公民館は児童室、子どもさんと一緒に楽しむスペース、使用料が要らないスペースが非常に多いので、その辺は変わってくると思う。

委員 前回の時に県下の開館日数の表があったが、祝日と第1、第3が休館になると開館日数はどうなるのか。

館長 ⇒ 祝日が12、13日、第1、第3が20日、33日余りが減ることになる。

大岡 ⇒ アンケートの説明があったが、できれば夕方、少し延長する形を来年度からとらしてもらいたい。

委員 それはすべての施設か。

大岡 ⇒ 図書館だけです。

委員 何時頃までとお考えか。

大岡 ⇒ 現場の司書と検討してから、毎日は厳しいので夏場だけと思ったが、館長は曜日を決めてとの考えがある。

館長 ⇒ アンケートからは具体的に7時、8時が多く、1時間、2時間の延長。

委員 曜日の方が認識されやすいかと思う。

大岡 ⇒ 水曜日の小学校が早く終わる日に延長するとか、色々と検討したい。

委員 地域によって違い、夜に開けてもそれほど影響はない。試行したが7時でゼロとか、非常に少なかった。

大岡 ⇒ そのような状況は現場からも聞いている。規則を変えるのではなく試行的にやってみたいが、延長しても元に戻した図書館もあると聞いている。その辺は慎重にしたい。

委員 あげぼのパーク20周年時も日曜日で図書館への利用者も非常に多く、職員も大勢来ておられた。

館長 ⇒ 年報からも土曜、日曜は利用者が多い。

委員 国の方から働き方改革について口頭ベースとか何かあったのか。

大岡 ⇒ そこまでは下りてきていない。

委員 来年度くると思うのでその準備かと思うが。

委員 職員数の基準はあるのか。

館長 ⇒ 特に基準はなく、比較は難しいが、貸出冊数と職員で比較をする。各市町の状況によって違う。

委員 比較は難しいが、多賀町の開館日数と人数を考えると厳しいと思う、この提案をされるのも理解できる。ただ、日曜日を開けなくなるとしたら、代わりに何ができるか、いろんな方が聴かれると思うので、よく考えていただきたい。

委員 小学校は、冬は4時半、夏は5時に家に帰るとなると水曜日に延長してもらわなくてもよい。それより働いている方から金曜が助かるとか、アンケートにあるような意見があるなら、その方がよいかと思う。

委員 休みが多くなることによって、打ち合わせ、コミュニケーションがとれるが、残念ながら、住民からは見えない。図書館の場合はどこに行っても全員が揃わ

ないのが現状である。

委員 これは、どこで意思決定されるのか。

大岡 ⇒ 教育委員会に諮って承認をいただいたらスタートするという形になる。

委員 住民の皆さんはどう思われるか心配する。子どもさんがおられる方は土日をあてにされる方が多い。第1と第3の休みをどのように周知されるのか、方法しだいで利用者が減ってこないかと。この案にくるまでに他の案はなかったのか。第1、第2、第3あってこの案なのか。

大岡 ⇒ やはり人員が増えるのであれば、このような形は取らなくてすむ。生涯学習課だけで回っているわけではなく、役場全体で考えて検討していかなければならない。財政も厳しい状況でどこも人員が少ない。最終、どうにか住民さんにご理解をいただくしかない。

会長 今日のところはご意見があったということでとめさせて頂いてよいのか。

委員 今日は休みの委員さんがおられる。図書館協議会としては半数なのですが、12月議会、来年度予算にかけられるのか。

大岡 ⇒ 説明はさせてもらうが、周知はできるだけ早い方がよい。

委員 町民はこの休館日についてはまったく知らないののでいつ周知するのか。

大岡 ⇒ 協議会の皆さんと議会の方への説明ですし、今の状況ではできない。

#### 4. 移動図書館「さんさん号」利用状況(ステーション別)について

過去3年間の利用状況の説明を行った。主な意見、質問は下記のとおり

委員 BMの運行形態はどのようになっているのか。

上田 ⇒ 正職1名、嘱託2名、臨職4名の7名で月1回、3コースをローテーションでまわり、巡回コースによって2名ないし3名の体制になっている。

委員 BMの運転はどなたがされているのか。

上田 ⇒ 正職1名、嘱託2名の3名でコースごとに運転を分担している。

委員 冬場などは大変ではないのか。運転者が都合悪い場合の対応は。

上田 ⇒ 都合が悪い場合は、交代できる体制となっている。町内に警報が発令している時など移動図書館車は運行しない場合もある。

## 5. その他

委員 職員数、利用者数、貸出冊数などを気にされながら、大きな決断をされようとしている。その影響はそれぞれの自治体で考えることになる。色々やってみるのも大事、今後、多賀町の図書館や生涯学習課をどのようにされるのか、そのゆくえを見たいと思う。また、本日欠席されておられる委員さんが、どのようにお考えなのかご意見もお伺いしたいところ。

委員 横山秀夫を招聘いただき、個人的にファンなので参加していい記念となった。

委員 作家のなかなか聞けない部分の話であるとか、映画、ドラマでもお馴染みで、従来の推理小説ではなく、警察内部の権力抗争など多彩な人々に焦点をあてている作家さんで良かった。アーサービナードーさんもなかなか聞けない方で非常に良かったと思う。企画は図書館と情報共有しながらやってほしい。新聞社の方に図書館を通じてPRをされたい。このような企画は来年以降もやってもらいたい。

会長 事務局から他に何かありますか。

館長 特にはないです。

会長 ないようですので、本日の会議はこれで終わります。遅くまでありがとうございました。どうぞ、お気をつけてお帰りください。